

京都職業能力開発短期大学校 ポリテクカレッジ京都 (その4)

竹内榮一校長から ～舞鶴商工会議所の皆様へ～
来年度から「ロボット」を教科に



シリーズ4回目は、ポリテクカレッジ京都の竹内榮一校長にお願いし、「学校の『今』」を語っていただきました。竹内榮一校長から舞鶴商工会議所の皆様へメッセージです。



竹内榮一校長 (8月9日ポリテクカレッジ京都)

学生—目的を持った人材に育てる

現在、多くの企業では人材育成にまで十分に手が回らないのが実態です。ポリテクカレッジ京都では、教職員27人が、学生の特性を見ながら2年間で企業に役立つ人材として育てています。就職先からは、お世辞もあるのかも知れませんが、大変良い評価をいただいています。

入学してくる学生は、夢や目的を持った者ばかりではありません。でも大丈夫なんです。きめ細やかな指導の中で、技能を身に付け就職を目指すようになり、大学院に進学する者もいます。

今年も入学試験が10月13日から始まります。責任を持って“人材”にしますので、お近くに受験生の方がありましたら、勧めていただくと幸いです。

企業の皆様—利用してください

舞鶴市民はもとより、各企業等についても、ポリテクカレッジ京都のプレゼンスは十分とは考えていません。もっと地域に開かれた学校として「知っている、来ていただける」—努力をしなければならぬと考えています。

本当の“人材”になるには、社会のニーズに合致していなければなりません。企業の皆様には、どうぞ利用いただきたいですし、学校としても積極的な働きかけが不可欠です。行政や商工会議所との連携も深めながらコミュニケーション強化へ向け、様々な取り組みを進めていきたいと考えています。

また、一般の大学には無い、企業で実際に使用さ

れている最新の機械や設備などを整えており、学業として技能を身に付けられ、それがすぐに仕事に役立つことがポリテクカレッジの最大の強みです。

学校—これからのポリテク

企業の中で加速する自動化・省力化の進行を踏まえて、来年度から新たに、「ロボット」に関する教科を加えます。学生の“技能の幅”を増やすとともに、より企業ニーズに応えられるようにするものです。

一方で、舞鶴の方々に「身近にある学校」として親しまれていなければなりません。現在、城北中学校のソフトテニス部に学校施設を開放していますし、市や地域等とともに多様な「まちづくり」にも取り組んでいます。

今も舞鶴商工会議所には、種々ご支援を受けていますが、学校としての設置目的や目標を達成するために、一層のご理解とご協力をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(平成30年8月9日、ポリテクカレッジ京都で)

○問い合わせ ポリテクカレッジ京都 (Tel 75-4341)



地域へものづくりを発信 (ポリテクビジョン2018:平成30年2月)

●入学試験の主な日程

【一般推薦入試】10月13日、11月17日

【自己推薦入試】11月17日、12月15日、来年3月17日

【事業主推薦入試】11月17日

※オープンカレッジも予定されています。詳細はポリテクカレッジ京都へどうぞ